

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年1月6日

計画の名称	1 香芝市における防災性の高いユニバーサルデザインの『緑豊かなまちづくり』		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	香芝市
計画の目標			

香芝市では、緑の基本計画に基づき、金剛生駒紀泉国定公園や平野川など良好な自然資源を活かした緑豊かな自然と共生する公園都市のモデルとして、香芝市スポーツ公園を核とした『緑豊かなまちづくり』を計画的に進めていくこととしている。その緑の核である香芝市スポーツ公園を、幼児から高齢者まで、市民の誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園として整備を推進すると共に、本公園を広域避難地として防災関連施設を整備し、白鳳台住宅団地等の密集市街地の防災性向上を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・市民1人あたりの自然環境（公園、緑地、樹林地、草地等）の確保量：5.1㎡/人（平成22年度）→6.8㎡/人（平成26年度末）
- ・歩いて行ける公園整備率：71%（平成22年度）→85%（平成26年度末）
- ・市民1人あたりの避難地の面積：4.46㎡/人（平成22年度）→6.22㎡/人（平成26年度末）

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
・市民1人あたりの自然環境（公園、緑地、樹林地、草地等）の確保量 都市計画区域における都市公園、緑地保全の他、公共施設において永続性が担保された緑地等の面積/香芝市の人口 ・（供用公園箇所数/（住区数（人口：万人）×1住区の公園標準箇所数））×（平均供用公園面積/公園標準面積）×100	5.1 ㎡/人	5.9 ㎡/人	6.8 ㎡/人	
・市民1人あたりの避難地の面積 香芝市防災計画における避難地の面積/香芝市の人口	4.46 ㎡/人	5.34 ㎡/人	6.22 ㎡/人	

全体事業費	合計 (A+B+C)	196 百万円	A	196 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%
-------	---------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	-------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
定量的指標の実績値を測定のもと、市において事業効果の発現状況等を考察する。	平成28年4月～平成28年12月
	公表の方法
	香芝市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 1 基幹事業										全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	香芝市	直接	香芝市	都市公園事業（香芝市スポーツ公園）	公園整備 A=13.3㉜（第1期事業）	香芝市						196	
合計													196.00		

B 関連社会資本整備事業										全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0.00		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業										全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0.00		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		香芝市スポーツ公園については、平成15年度より事業を開始し、用地取得及び発掘調査の実施に努めることにより、当計画期間における用地取得率は向上したものの、アクセス道路となる都市計画道路（尼寺関屋線・畑分川線）の事業進展が図れなかったことから、公園の供用開始に向けた工事施工ができず、目標値を達成するに至らなかった。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (市民一人あたりの自然環境(公園、緑地、樹林地、草地等)の確保量)	最終目標値	6.8㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	運動公園である香芝市スポーツ公園(第1期事業認可面積13.3ha)が事業中であり供用開始していないことから、目標値を達成するに至らなかった。
		最終実績値	5.2㎡/人		
	指標② (〔供用公園箇所数/(住区数(人口:万人)×1住区の公園標準箇所数)〕×(平均供用公園面積/公園標準面積)×100)	最終目標値	85%	目標値と実績値に差が出た要因	運動公園である香芝市スポーツ公園(第1期事業認可面積13.3ha)が事業中であり供用開始していないことから、目標値を達成するに至らなかった。 香芝市スポーツ公園以外の街区公園について、新たに4箇所整備が完了したものの、人口増加により当初現況地を下回る値となった。
		最終実績値	70%		
	指標③ (市民1人あたりの避難地の面積)	最終目標値	6.22㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	広域避難地となる香芝市スポーツ公園(第1期事業認可面積13.3ha)が事業中であり供用開始していないことから、目標値を達成するに至らなかった。
		最終実績値	4.50㎡/人		
	指標④	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		指標③に関連して、広域避難地となる香芝市スポーツ公園の供用開始に至らなかったものの、用地取得した既存農地等(第1期事業認可面積13.3haに対して用地取得率が約84%)を活用することにより、大規模な災害の際に仮の避難場所とすることが可能となっている。			
3. 特記事項(今後の方針等)					
香芝市スポーツ公園とともに当公園へのアクセス道路となる都市計画道路(尼寺関屋線及び畑分川線)を整備(H31予定)することにより、市民一人あたりの自然環境の面積及び避難地の面積確保に努めることとする。					

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 香芝市における防災性の高いユニバーサルデザインの『緑豊かなまちづくり』		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	奈良県香芝市

